

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-70406

(P2001-70406A)

(43) 公開日 平成13年3月21日 (2001.3.21)

(51) IntCl<sup>7</sup>

A 6 1 J 9/00

識別記号

F I

A 6 1 J 9/00

テマコト (参考)

P

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 2 頁)

(21) 出願番号

特願平11-287160

(22) 出願日

平成11年8月31日 (1999.8.31)

(71) 出願人 599133141

福永 由紀恵

兵庫県神戸市灘区篠原伯母野山町一丁目一

番 六甲グランドヒルズ2-513

(72) 発明者 福永 由紀恵

兵庫県神戸市灘区篠原伯母野山町一丁目一

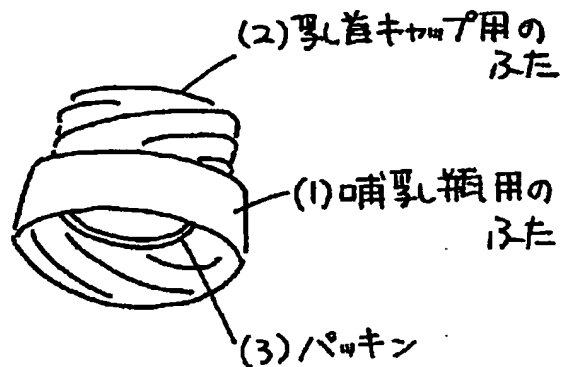
番 六甲グランドヒルズ2-513

(54) 【発明の名称】 哺乳瓶と乳首キャップのふた兼アダプター

(57) 【要約】

【課題】 哺乳瓶と乳首キャップを、それぞれ単独で持ち歩く際にも、清潔に使えるように、また乳首キャップが、バッグの中などで行方不明にならないように、哺乳瓶と乳首キャップのふたを一体化した、哺乳瓶と乳首キャップのふた兼アダプターを提供する。

【解決手段】 哺乳瓶用のふた (1) に乳首キャップ用のふた (2) を設けた本体に、パッキン (3) を、哺乳瓶の口が当たるところに付けたことを、特徴とする。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 哺乳瓶用のふた(1)と、乳首キャップ用のふた(2)よりなる、哺乳瓶と乳首キャップのふた兼アダプター。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、哺乳瓶用のふたに、乳首キャップ用のふたを付けた、哺乳瓶と乳首キャップのふた兼アダプターに関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来、哺乳瓶と乳首キャップには、それぞれのきちんとした、ふたが無かった。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】これには次のような欠点があった。

(イ) 哺乳瓶と乳首キャップは、それぞれが、互いのふたの役割を担っていた。

(ロ) 哺乳瓶と乳首キャップには、それぞれのきちんとしたふたが無く、それぞれ単独で持ち歩く際、不潔になりやすかった。

(ハ) 乳首キャップは小さいため、単独で持ち歩く際、バッグの中などで、行方不明になりがちであった。本発明は、これらの欠点を除くためになされた物である。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】哺乳瓶用のふた(1)に乳首キャップ用のふた(2)を設け、パッキン(3)を、哺乳瓶の口が当たるところに付ける。本発明は、以上の構成よりなる、哺乳瓶と乳首キャップのふた兼アダプターである。

## 【0005】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施例について説

明する。

(イ) 哺乳瓶用のふた(1)の上部に、乳首キャップ用のふた(2)を設ける。

(ロ) 哺乳瓶の中の液が、漏れないようにするためのパッキン(3)を、哺乳瓶の口が当たるところに付ける。本発明は以上のような構造で、これを使用する時は清潔な状態で、哺乳瓶用のふたの外側を持ち、汚染しては困る部分、すなわち使用する側の連結部分には触れないようにしながら、その部分を、ふたとして連結する。また、哺乳瓶と乳首キャップの両方を連結した場合、本発明を間に挟んで3つが一体となる。

## 【0006】

【発明の効果】これには次のような効果がある。

(イ) 哺乳瓶と乳首キャップ、それぞれ単独で持ち歩く際にも、清潔な状態が保てる。

(ロ) (イ)により、乳児の食中毒の予防につながる。

(ハ) 乳首キャップと哺乳瓶とを、連結させることにより、乳首キャップが行方不明にならない。

(ニ) 市販の瓶入り飲料を飲ませた後の様に、片方が不潔な状態になっても、もう片方までもが、汚染されずに済む。

(ホ) 調乳などの際、扱いに困る乳首キャップの、安定感のある置き場所になる。

本発明は、これらの効果をもたらす物である。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の、下から見た斜視図である。

【図2】 本発明の、実施例の断面図である。

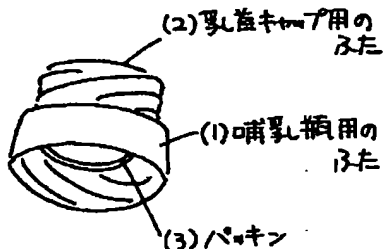
## 【符号の説明】

(1) 哺乳瓶用のふた

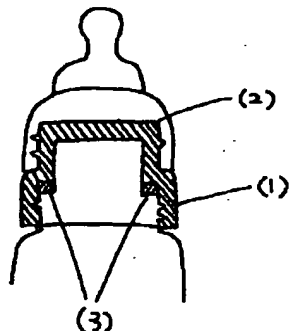
30 (2) 乳首キャップ用のふた

(3) パッキン

【図1】



【図2】



PAT-NO: JP02001070406A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2001070406 A  
TITLE: LID COMMONLY USED AS ADAPTER FOR NURSING BOTTLE AND NIPPLE CAP

PUBN-DATE: March 21, 2001

INVENTOR-INFORMATION:

NAME COUNTRY  
FUKUNAGA, YUKIE N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME COUNTRY  
FUKUNAGA YUKIE N/A

APPL-NO: JP11287160

APPL-DATE: August 31, 1999

INT-CL (IPC): A61J009/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To permit a nursing bottle and a nipple not to be when they are carried alone and not to be missed in a bag or the like by providing a lid for a nipple cap in the lid of the nursing bottle and arranging a packing at a part to be abutted on the opening of the bottle.

SOLUTION: The nipple cap lid 2 is arranged in the upper part of the nursing bottle lid 1 and the packing 3 to prevent the leakage of a liquid in the bottle is arranged at a part to be abutted on the opening of the bottle. When it is used, the outer side of the nursing bottle lid 1 is held in a sanitary state, a part which must not be dirty, that is, a connecting part at a usage side is prevented from being touched and, then, the part is connected as the lid. Thus, the nursing bottle and the nipple cap are kept sanitary when they are carried alone so that food poisoning is prevented concerning an infant. Besides, the nipple cap is connected to the bottle so as to prevent the missing.

COPYRIGHT: (C)2001, JPO